

90年の時を超え 八幡宮に12基見参



30年ぶりに見送り幕掛替え
重要文化財にも指定されている翁山の見送り幕が、30年ぶりに参道で掛けられました。



夕渡り（ゆうわたり）
子ども役者の行列。役に応じた歩き方で長浜八幡宮から一八屋辻まで練り歩きます。

4月13日～16日まで行われた長浜曳山まつり。今年は、週末と重なった上に、90年ぶりに12基の曳山が長浜八幡宮に勢揃いしたとあって、14、15日の2日間で8万人の人数がありました。
特に、全山が勢揃いした14日の夜と15日の朝は、八幡宮の境内がたくさんの人で埋めつくされ、身動きがとれないほどでした。



籤取り式（くじとりしき）
狂言執行の順番を決める儀式。
ヨイサ！ヨイサ！の掛け声のもと籤を引いていきます。



裸参り（はだかまいり）
出番山の若衆が、役者の無事と良いクジがひけるようにと、長浜八幡宮と豊国神社へ祈願します。

線香番（せんこうばん）
まつりで上演される狂言の時間を計るもので、稽古が公開されます。



いつの時代も人の心を魅了する 子ども役者の名演技

華やかな衣装を着た子ども役者が、今年も曳山の上で見事な歌舞伎を披露してくれました。

壱番山
翁山（おきなざん）



貳番山
常磐山（ときわざん）



参番山
萬歳楼（ばんざいろう）



四番山
孔雀山（くじゃくざん）



長浜市に住む外国出身の方を紹介するコーナー。
今回は、市民広報員の清水恵子さんに取材していただきました。

さんやお母さんに教えてもらっていたけど、だんだん覚えていき、今ではお父さんやお母さんに教えるくらいになりました。
○試験勉強ってどれくらいしたの？
サークル（アミーゴス・ド・ブラジル）のみんなと試験を受けることになり、3か月かけて勉強をしました。
また、最初は2級の勉強をしていましたが、どうせなら一番上を目指そうと思い1級を受けました。
○合格したときの気持ちは？
1級に合格したのは僕だけだったのでびっくりし

ましたが、みんなが祝福してくれたのでうれしかったです。
○これからやってみたいことは？
日本の歴史が好きなので、日本の高校や大学でその勉強したいです。また、関連してブラジルや世界の歴史も勉強したいと思います。歴史を知ることには現在を知ることにつながると思うので。

《取材を終えて》
日本の言葉と文化の中で育ちつつ、グローバルな視野を持っている姿勢をととても頼もしく感じるとともに、子どもたちの育つ環境づくりも大切だなと思いました。

うえるがむ + ながはま ⑥ —まちの外国人さん—



川並 ひできくん
（殿町・ブラジル）

日本語能力試験 1 級に一発合格！

今回は、難しいと言われている日本語能力検定試験の1級に合格（市内在住外国人で最年少）し、この春中学校に進学した川並ひできくんを紹介します。

○いつから長浜に 10年前（2歳の時）
○日本語がとても上手ですね
4歳で保育園に入ったときはうまく話せず、お父